平成23年８月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年７月12日

上 場 会 社 名　株式会社ワッツ　　上場取引所　大
コ ー ド 番 号　2735　　ＵＲＬ　http://www.watts-jp.com/
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長　　(氏名)　平岡　史生
問合せ先責任者　(役職名)　取締役経営企画室長　　(氏名)　山本　喜一郎　　(TEL)06-4792-3280

四半期報告書提出予定日　平成23年７月13日　　配当支払開始予定日　　ー
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成23年８月期第３四半期の連結業績(平成22年９月１日～平成23年５月31日)

(１)連結経営成績(累計)　　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年８月期第３四半期	28,358	9.5	1,363	31.2	1,536	28.5	776	39.4
22年８月期第３四半期	25,909	4.9	1,039	19.6	1,195	40.1	557	6.9

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年８月期第３四半期	125.00	123.29
22年８月期第３四半期	89.86	88.02

(２)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年８月期第３四半期	13,522	4,530	33.5	727.80
22年８月期	11,962	3,916	32.6	629.43

(参考)自己資本　23年８月期第３四半期　4,524百万円　22年８月期　3,902百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年８月期	ー	0.00	ー	20.00	20.00
23年８月期	ー	0.00	ー		
23年８月期(予想)				20.00	20.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　：無

３．平成23年８月期の連結業績予想(平成22年９月１日～平成23年８月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,500	32.2	1,700	24.7	1,850	20.4	980	26.2	158 08

(注)当四半期における業績予想の修正有無　：有

４．その他　（詳細は、【添付資料】P. ３「２．その他の情報」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　　：無

新規　ー社　（社名）　　、除外　ー社　（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更　：有

②　①以外の変更　：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年8月期3Q	6,979,400株	22年8月期	6,979,400株
②　期末自己株式数	23年8月期3Q	763,351株	22年8月期	780,090株
③　期中平均株式数(四半期累計)	23年8月期3Q	6,214,010株	22年8月期3Q	6,199,400株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、平成 22 年 10 月 12 日の決算発表時の業績予想から修正しております。詳しくは、本日(平成 23 年7月 12 日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P. 3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 3
会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書 …… 6
（第３四半期連結累計期間） …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）セグメント情報 …… 8
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高や消費刺激策の縮小により、先行きに強い不透明感をもって始まりました。期間が経過するにつれ外需による景気の牽引に期待が高まる一方で、中東・北アフリカの政情不安を要因とした原油や他の原材料費高騰の景気への悪影響が懸念されていました。そのような状況下、３月に発生した東日本大震災は、東日本の広範囲にわたり甚大な被害をもたらし、景気は大きく落ち込みました。その後、復興支援が展開されていますが、福島原子力発電所の事故の収拾の遅れが将来の電力不足への不安を増大させ、生産活動や日常生活への悪影響が懸念されています。

被災地域の当社店舗は、発生後３週間後には殆どの店舗で営業を再開いたしました。店舗及び商品への被害も軽微でありました。このような環境下で当社は、より良い商品を安く売る仕組みづくりに努力を続けております。

当第３四半期連結累計期間における100円ショップ店舗の出店数は、直営店舗82店舗、FC店舗他が３店舗、閉鎖店舗数は直営店舗が33店舗、FC店舗他が43店舗で、当第３四半期連結累計期間末のグループ店舗数は、100円ショップ以外の店舗を含め832店舗となりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は283億58百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益は13億63百万円（同31.2%増）、経常利益は15億36百万円（同28.5%増）、四半期純利益は７億76百万円（同39.4%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、135億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ、15億59百万円の増加となりました。その内訳は、資産の部では、流動資産は99億58百万円（同15億31百万円増）、固定資産は35億63百万円（同28百万円増）であります。負債の部では、流動負債は70億44百万円（同２億18百万円増）、固定負債は19億46百万円（同７億27百万円増）であります。

資産の増加は、主として、新規出店に伴い、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末に比べ２億87百万円増加し、現金及び預金が前連結会計年度末に比べ９億82百万円増加したことによるものであります。

負債の増加は、主として、長期借入金が前連結会計年度末に比べ６億37百万円増加、支払手形及び買掛金が前連結会計年度末に比べ４億６百万増加、１年内返済予定の長期借入金が連結会計年度末に比べ３億６百万円増加したことによるものであります。

純資産の部の合計は、45億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ、６億13百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金が前連結会計年度末に比べ６億47百万円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は33.5％となり、前連結会計年度末に比べ、0.9％の増加となりました。１株当たり純資産は727円80銭であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ９億82百万円増加し30億19百万円となりました。

当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は、10億３百万円（前年同期は11億３百万円の獲得）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益14億93百万円、仕入債務の増加額３億64百万円、減価償却費１億67百万円であります。支出の主な内訳は、法人税等の支払額12億46百万円、たな卸資産の増加額１億34百万円、賞与引当金の減少額１億10百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は４億65百万円（前年同期は２億83百万円の使用）となりました。この内訳は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出３億81百万円、有形固定資産の取得による支出１億85百万円、新規出店のための敷金及び保証金の差入による支出１億80百万円、店舗閉鎖による敷金及び保証金の回収による収入２億57百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は４億47百万円（前年同期は7百万円の使用）となりました。この内訳は、長期借入金の返済による支出11億61百万円、社債の償還による支出１億80百万円、短期借入金の純減額１億50百万円、配当金の支払額１億23百万円、長期借入れによる収入21億円等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

売上高は、100円ショップ既存店の対前年伸び率と新店の出店ペースが、東日本大震災にも係わらず業績予想の前提を上回り堅調に推移しており、利益は、仕入コストに若干の上昇がありましたが、卸や食品の売上シェアの低下により売上総利益率が改善し、販売費及び一般管理費の抑制にも成果が出て利益率が上昇しております。上記のことから、平成22年10月12日に公表いたしました平成23年８月期連結業績予想を以下のとおり修正しております。

（通期）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	36,100	1,450	1,600	740	119.37
今回修正予想（B）	37,500	1,700	1,850	980	158.08
増減額（B－A）	1,400	250	250	240	―
増減率（％）	3.9	17.2	15.6	32.4	―
前期実績（平成22年8月期）	34,634	1,325	1,542	726	117.25

２．その他の情報

会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

１．資産除去債務に関する会計基準の適用

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、当第３四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は3,851千円、税金等調整前四半期純利益は50,845千円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は65,914千円であります。

２．表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年３月24日　内閣府令第５号）の適用により、当第３四半期連結累計期間及び等第３四半期連結会計期間では、それぞれ「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年５月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年８月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,019,963	2,037,909
受取手形及び売掛金	1,981,605	1,694,143
商品及び製品	4,338,671	4,032,362
原材料及び貯蔵品	9,803	9,222
繰延税金資産	312,161	347,539
その他	319,216	330,867
貸倒引当金	△23,321	△25,094
流動資産合計	9,958,099	8,426,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	706,998	682,676
減価償却累計額及び減損損失累計額	△464,282	△478,417
建物及び構築物（純額）	242,715	204,258
車両運搬具	13,135	6,427
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,960	△3,812
車両運搬具（純額）	2,175	2,615
工具、器具及び備品	2,006,177	1,865,610
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,534,609	△1,408,557
工具、器具及び備品（純額）	471,567	457,052
土地	80,600	80,600
有形固定資産合計	797,059	744,527
無形固定資産		
のれん	117,078	234,157
その他	28,797	29,033
無形固定資産合計	145,876	263,190
投資その他の資産		
投資有価証券	71,668	65,128
繰延税金資産	40,912	22,047
差入保証金	2,430,331	2,366,007
その他	110,400	104,809
貸倒引当金	△32,253	△29,851
投資その他の資産合計	2,621,058	2,528,141
固定資産合計	3,563,994	3,535,859
資産合計	13,522,094	11,962,809

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年５月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年８月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,277,502	3,870,641
短期借入金	140,000	140,000
1年内償還予定の社債	―	180,000
1年内返済予定の長期借入金	1,466,807	1,160,189
未払法人税等	252,357	759,187
未払消費税等	23,325	25,834
賞与引当金	18,895	108,950
その他	865,666	581,686
流動負債合計	7,044,553	6,826,489
固定負債		
長期借入金	1,510,918	873,739
退職給付引当金	85,354	74,546
役員退職慰労引当金	86,333	68,553
資産除去債務	78,416	―
その他	185,793	202,556
固定負債合計	1,946,814	1,219,394
負債合計	8,991,367	8,045,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,297	440,297
資本剰余金	876,066	876,066
利益剰余金	3,527,589	2,879,995
自己株式	△312,489	△291,374
株主資本合計	4,531,463	3,904,985
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,578	△4,907
為替換算調整勘定	△4,875	1,932
評価・換算差額等合計	△7,453	△2,975
新株予約権	6,715	14,914
純資産合計	4,530,726	3,916,924
負債純資産合計	13,522,094	11,962,809

（２）四半期連結損益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年９月１日 至　平成22年５月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年５月31日）
売上高	25,909,218	28,358,231
売上原価	16,273,405	17,627,898
売上総利益	9,635,813	10,730,333
販売費及び一般管理費	8,596,353	9,366,486
営業利益	1,039,459	1,363,846
営業外収益		
受取賃貸料	20,182	15,245
消費税等免税益	175,157	－
還付消費税等	－	201,013
その他	32,188	6,565
営業外収益合計	227,528	222,825
営業外費用		
支払利息	27,467	21,851
退店違約金	29,589	4,790
持分法による投資損失	－	11,688
その他	14,756	12,284
営業外費用合計	71,814	50,614
経常利益	1,195,173	1,536,057
特別利益		
固定資産売却益	474	－
投資有価証券売却益	－	8,243
貸倒引当金戻入額	5,424	6,116
その他	273	10,241
特別利益合計	6,173	24,601
特別損失		
固定資産除却損	3,223	3,112
固定資産売却損	3,541	－
減損損失	48,227	6,933
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	46,994
災害による損失	－	10,228
その他	－	312
特別損失合計	54,992	67,580
税金等調整前四半期純利益	1,146,354	1,493,077
法人税、住民税及び事業税	780,770	701,325
法人税等調整額	△191,511	14,985
法人税等合計	589,258	716,310
少数株主損益調整前四半期純利益	－	776,766
四半期純利益	557,095	776,766

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年９月１日 至　平成22年５月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年５月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,146,354	1,493,077
減価償却費	156,176	167,749
減損損失	48,227	6,933
負ののれん償却額	△4,532	－
のれん償却額	117,078	143,045
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△5,424	△3,920
賞与引当金の増減額（△は減少）	△96,265	△110,404
退職給付引当金の増減額（△は減少）	20,397	10,807
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	6,486	3,280
受取利息及び受取配当金	△3,945	△2,673
支払利息	27,467	21,851
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	46,994
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△8,243
固定資産除却損	3,223	3,112
売上債権の増減額（△は増加）	△34,176	△8,360
たな卸資産の増減額（△は増加）	△390,771	△134,861
仕入債務の増減額（△は減少）	183,367	364,658
未払消費税等の増減額（△は減少）	△52,549	△6,896
その他	252,068	283,636
小計	1,373,180	2,269,787
利息及び配当金の受取額	3,940	2,505
利息の支払額	△28,382	△22,230
法人税等の支払額	△245,537	△1,246,381
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,103,201	1,003,681
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△252,205	△185,129
有形固定資産の売却による収入	109,238	14,386
敷金及び保証金の差入による支出	△189,223	△180,039
敷金及び保証金の回収による収入	71,672	257,440
投資有価証券の取得による支出	△4,500	－
投資有価証券の売却による収入	－	11,243
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△381,276
その他	△18,299	△2,234
投資活動によるキャッシュ・フロー	△283,317	△465,610
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	△150,000
長期借入れによる収入	1,050,000	2,100,000
長期借入金の返済による支出	△915,980	△1,161,705
社債の償還による支出	△80,000	△180,000
自己株式の売却による収入	－	49,416
自己株式の取得による支出	－	△86,046
配当金の支払額	△61,994	△123,986
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,974	447,678
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,809	△3,695
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	807,100	982,053
現金及び現金同等物の期首残高	1,336,369	2,037,909
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,143,469	3,019,963

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

当第３四半期連結累計期間（自　平成22年９月１日 至　平成23年５月31日）及び当第３四半期連結会計期間（自　平成23年３月1日　至　平成23年５月31日）

100円ショップの運営及びその付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。